

芦屋市広報 芦屋市精道町93 発行所 芦屋市役所長 発行人 芦屋市増蔵 編集人 西田増蔵 印刷所 オール出版印刷KK 毎月1回5日発行定価 2円

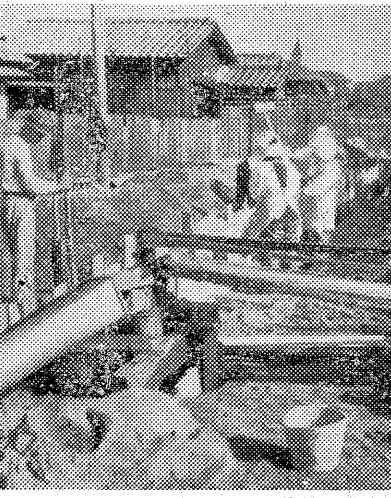
下水道終末処理場の用地買収や市税条例の改正案等

前回はきよく十月十日から十一月十九日まで市議会の本会議と委員会の審議の運びでお知らせしたいとおもいます。

第7回定例市議会の状況

十月三十一日 総務常任委員会 財産管理について、市内各所に在る市有財産の現地視察を行ひその円滑な管理を期すため、引き続き審議することになった。

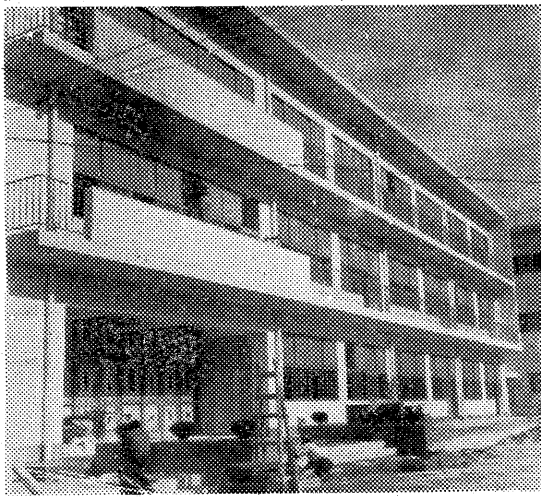
おかげで好成績 共同募金 十月中、全国一に展開された「赤いね」共同募金は、本市では関係者及び市民各位の絶大な協力のおかげで例年より好成績をもつて終了しました。



浜手地区で進捗中の下水道埋設工事

芦屋市の推計人口 (11月1日現在) 人口総数 53,269 男 25,970 女 27,299 世帯数 12,303

したいところ、これに對しては地価の値上りを考慮し、この際一括購入し総計をたてるべきである。又財政的に不可能であるなら将来のことについて十分な措置を講じなければならぬ等の意見があつて、七三、七四号の同議案とも、総務委員会付託となつた。



12月11日の落成式を待つ精道中増築校舎

現地で市政を改善 行政指導班街頭へ

いままでも市の各課は常時、随時市内を巡回して、市の仕事に目立たない欠点はないか気を配り、また市民の方からの要望、意見をお聞きして市政の改善に役立ててきました。

を檢討するため、総務委員会付託となつた。次の七号議案は昭和三十一年兵庫市市債収入増額追加更正予算(第四号)は、一般会計歳入、四〇四、八〇〇円の追加更正予算に對する、歳入追加を市税一、三五五、〇〇〇円、雑収入九、八〇〇円の計、四〇四、八〇〇円として、第七号議案

つぎつぎ各地区で

市政懇談会開かる

市広報委員会(委員長増田三三郎氏)では、七月以来しばらくとだえていた広報地区懇談会を、十月下旬から引続き五カ所で開催しました。

農産物品評会

主要食糧と近郊野菜の栽培技術の改良奨励のため、きたる12月13、14の両日、打出公会堂で市主催農産物品評会を開きます。

水稲多収増進会

水稲の品質改良と技術改善をはかり生産量の増進をはかむため、六月以来共進会を行つてきました。

年末市役所は休み

市役所、教委事務局、公民館、図書館は12月28日(月)から1月4日(日)まで休みです。

12月米の配給

内地米9日分、希望配給(内地米)5日分、徳用米1日分、普通米15日分、Δ1日分は1人2.56合、正月用餅米特配は追報します。

灰・燃がらを 予定日に収集 灰・燃がらを回収します。回収日には、灰・燃がらを一定の容器に入れて道路に持ち出し、回収日に回収していただきます。

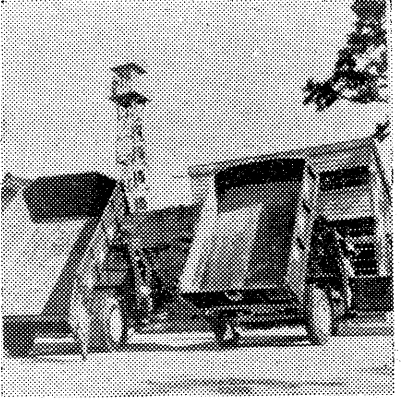


Table for ash collection dates: 町名, 12月, 1月, 2月, 3月







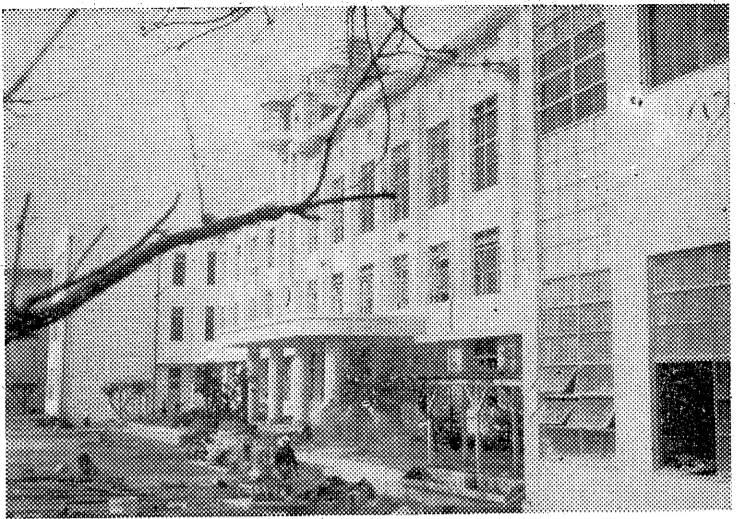
# 教育と文化

## 緑の背山のもと

### 新装なった山手小学校

「まあ、きれいな学校！」  
最近、山手界隈をめぐると聞かれる言葉である。よほど澄みわたる秋空の蒼さに映えて、まばゆいばかりのクリーム色、深みゆく六甲のなごりをバックに、くっきりと浮き立つ大殿堂!!

「まるで山手学校ね」  
どの驚嘆もこのと想われるばかりの、加うるに画翼に六教室を添えて、くっきり張り出した威容、四月下旬以来九月、二千の学童と、普く以来九月、二千の学童と、



の父兄と、誰よりも四十名の職員が千秋の思いで待ちこがれた日が来た。十一月十七日の竣工祝賀式を目前にひかえて、日々浮きたつてゆく新装校舎である。

おすもいさんを投げとほして「わあー!!」

横綱橋錦を山小の学童が投げつけてるが、一瞬の歓声である。

秋の運動会をすませた十月二十二日、折から大阪球場へ巡業中の出羽の海門を遊んでの山小相撲の一日。

山小父兄の一人河合氏のお世話により、千代の山、橋錦閣をはじめ、出羽、鳴門海、成山以下の名力士十数名をお迎えすることができた。

小さい体に、それでも小さいまわしをきりとめた、山小六年の小力士が、つきと仁王さん

## 二 條 城

山手小学校五年 上 淳子

バスからおりた時は、雨がふっていた。お城の中は、なんだか暗くて、へんなにおいがしていた。説明の人が廊下は、うへいすばりだとおしえてくれたが、私はうへいすばりは知恩院だと思っていた。そういわれては、キキョウとくいの鳴き声のようだった。一つ一つ部屋を見ていった。將軍の形や、大名たちの形もあつた。家来たちの休む部屋もあつた。大きなふすま、大きな絵、大きな部屋、いかにもりっぱなようだった。城を後にした。それからバスに乗って御所を通って平安神宮へ向かを見ていった。一つだけ女の人の

## 自然と子供

### 山手幼稚園

園外保育活動で一日を過ごす。秋晴れの心地よい朝、お弁当目を利用して、海岸に出かける。二人ずつ手をとり、列を乱すまいと、神経質に歩ゆんで来る子、歩き事より珍しい事への好奇心で、あちこち見廻しながら歩く子。「音屋川に水無いなね」「この川の水がずっと流れて海が出来るのよ」と、仲々物知り。が、音屋川の堤の静かさに、美しい並木道、松林のかけりに子供達はすっかり気に入って、国道、保健所、阪神の駅、市役所等見る物多しである。四十分後、ようやく音屋川に到着。音屋川に到着しては、荷揚げをして、貝殻はあつた。形は美しい石。そこそこ動く蟹、これは骨折りで、狭い石の間、にそと手を入れて逃げ走る小蟹大蟹、懸命の追っかけっこである。夢中にならな打込んだ姿を見て日常保育のうちに、これ

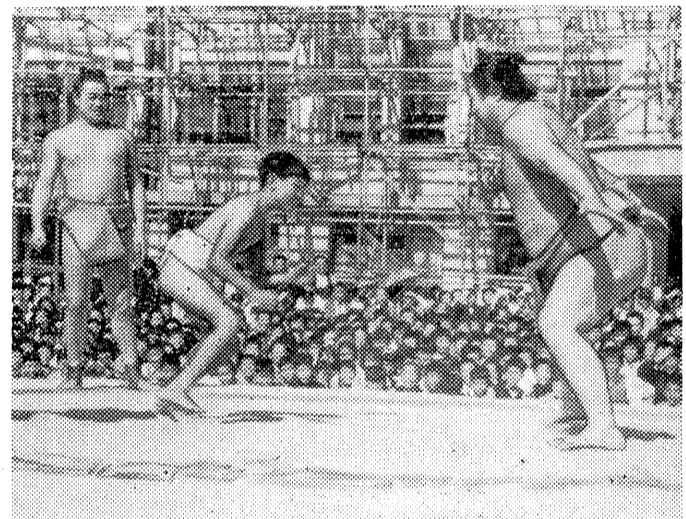


この他、金魚、二十日鼠、小鳥と可愛い友達がいる。そんなにとんどん暴れたらびりりするよ。こうして小動物と一緒に遊び、驚き、いたわり可愛さを感じながら科学への芽生が少しでも育つてくれればと願っている。(左写真)

## 海遊び

### 岩園幼稚園

「明日打出浜へ海遊びに行きますよ」といふので、園児たちも「わー」と歓声をあげて「万歳」と叫ぶ。山や、野原遊びの機会は今も、少し遠いので、あまり海へ行かないから、なおさら魅力があるらしい。「明日天気よるか」ところで



坊主作つて、「かしくかたうね」といふので、園児たちは「わー」と歓声をあげて「万歳」と叫ぶ。山や、野原遊びの機会は今も、少し遠いので、あまり海へ行かないから、なおさら魅力があるらしい。「明日天気よるか」ところで

## 活動する文化部

### 山手中学校

創立五十周年記念としての展示会と弁論会が十月二十日、二十一日の両日に行われました。今年はその周年記念の特別催としてPTAより作品を展示しました。手芸品と人形などでした。特別教室では家庭科の染色、職業科の木工の実演など新しい試みで、人気を博していた様でした。

弁論部は講堂のない悲しさ、今年も青空の会場でした。生徒たちは「作業と私達、無責任というところ、群衆心理」など身近な学校生活を熱心に弁じ、いい反省会ともなりました。ついでに部の対外活動をかきますと、①東中学校(女子)弁論大会に三年辻裕子さんが三位でした。(森学園十一月九日) ②東部近隣中弁論大会に三年中崎千子さんが一位優勝しました。(三田学園十一月十六日)

十一月一日に文化部の最後の行事として音楽会が行われる予定です。オペラ「瓜子姫とアマンジャク」バレエなどが特に上演され、目下練習中。小道具、コーラスの練習など熱心に行われています。会場は岩園小学校の講堂をおかりする予定です。

門松やクリスマスツリーはやめよう  
古来、わが国ではお正月に門松をたてる習慣があり、最近ではまたXマスにツリーを飾る風習も輸入されましたが、これらに使われる木はほとんど盗伐された若木が消費地に送られてくるのが現状なので、これらからいくらかでも大きくなる森林資源が盗まれる原因を作ると、

急いで「ちゃんやんが、一あの雲のうた」でいけるかなと、思いつくように、園児たちは「わー」と歓声をあげて「万歳」と叫ぶ。山や、野原遊びの機会は今も、少し遠いので、あまり海へ行かないから、なおさら魅力があるらしい。「明日天気よるか」ところで

問題の山本健吉、芭蕉、アン・エマリイ、ゴーンクステイ、一本間久雄、文学概論、名取順一、労働心理、大石豊一郎、変位器、大野達之助、日本思想史、宮南本、飛行機操縦技術、渡辺耕策、建築概論、片山尚、高等下、イッソフ、小柳篤二、独文和訳法、読書新聞社、捜査、富田豊、憲法小辞典、中野幸一、健児の工作法、金子武蔵、倫理學事典、藤田敏造、善しの素顔、肥後和男、神功皇后、和歌、藤田敏造、はたしの庶民、ラテン、私は信じている、中村汀女、母のこころ、原田淑人、中国考古学の旅、城戸又一、誤訳、加藤喜一郎、山に濡れた男、早乙女勝元、美しい顔、その他多数購入、毎日9:17時無料公開、火曜休、小堀町、市立図書館、(電五九七八)

**12月の新着書**

○平凡社 子供の科学、小橋弥太郎、生物化学通論、五味康祐、スポーツマン、刀斎、野村、雄、社会主義、インゲ、モルト、パンプロ、ナオの毎日新聞社、教育はみんなのもの、マーガレット、ホル、商業の経済理論、窪田章一郎、短歌入門、石川陸郎、世界の化学工業、佐竹義輔、植物の事典、カーン、フロイント、イギリス労働法の基礎理論、舟橋聖一、青い花の流れ、宮本又次、大阪府人口、服部満江、日本標準経済論、パロ、ルイ、大蔵大臣、ドナルド、G

**講座**

健全なレクリエーション普及のための通り、講習会を開催します。冬休みの子供達のプレゼントになれば幸いです。  
○日時 十二月七日(土)午後二時~五時、八日(日)午前九時~正午  
○会場 阪神スケット場  
○対象 小学校五・六年以上の男女を問わず初心者  
○申込 十二月六日まで市教委体育保健課へ  
○参加費 一人一回五〇円

**弓道協会**

**ご案内**

戦後一時衰えた弓道は新しい時代のスポーツとして次第に興隆しつつあり、老人でも女性でも楽しめることのできるレクリエーションとして市内唯一の弓道施設を、活用させていただきます。  
○事務所及び道場 伊勢町六、一山東區三方(電話三〇五二)白鳥弓道場  
○練習日時 毎週火、木、土午後六時半より  
○入会金(百円)、会費(月百円)三月分前納  
○申込 市教委体育保健課又は協会事務所へ  
○用具のない方は希望でお貸しします。(この場合月百円)

**児童美術展**

第8回  
会期 12月6日(10時~5時)  
会場 精道小講堂  
主催 芦屋市教育委員会  
後援 芦屋市

のほ文明国民として恥ずかしいことです。市民のみならず、貴重な美しいわが国の森林資源の美観を考へ、門松やクリスマスツリーは自粛願止しうてはなりません。

○平凡社 子供の科学、小橋弥太郎、生物化学通論、五味康祐、スポーツマン、刀斎、野村、雄、社会主義、インゲ、モルト、パンプロ、ナオの毎日新聞社、教育はみんなのもの、マーガレット、ホル、商業の経済理論、窪田章一郎、短歌入門、石川陸郎、世界の化学工業、佐竹義輔、植物の事典、カーン、フロイント、イギリス労働法の基礎理論、舟橋聖一、青い花の流れ、宮本又次、大阪府人口、服部満江、日本標準経済論、パロ、ルイ、大蔵大臣、ドナルド、G